

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 実施日時 | 2012年2月27日(月) 10:20~10:50 |
| 実施場所 | 東高津小学校理科室                 |
| 実施対象 | 自然科学委員会5・6年生(約18名)        |
| 実施内容 | ビオトープ事前学習会                |

1 実施内容

司会:児童

(1)ビオトープのお話

ビオトープって何だろう?他校のビオトープの紹介を踏まえて説明した。

(2)質疑応答

(3)教頭先生からのお話

2 スケジュール

| 時間    | 内容   |
|-------|--|
| 10:20 | 児童集合   |
| 10:30 | ビオトープのお話                                     |
| 10:45 | 質疑応答   |
| 10:50 | 教頭先生からのお話<br>ビオトープの小冊子を配布<br>先生から3月2日に向けてのお話 |

生物・植物

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

今回は、使用しませんでした。

問題点・気付いた事・その他

【質問】

- ①ザリガニは色々な生きものを食べてしまいビオトープに適さないのなら、トンボのヤゴはどうなのか?
- ②ザリガニ以外に、ビオトープに入れてはいけない生きものはありますか?
- ③カエルのオタマジャクシも、いろいろな生きものを食べると思うのですが?

【回答】

- ①ザリガニはどんどん増えてしまう。食べる量や繁殖力がヤゴとはぜんぜんちがうので、ヤゴはビオトープにいても問題ない。
- ②外国から来た生きものや、日本でも九州など離れた場所の生きものを入れてしまうのはよくない。その地域にすんでいる生きものが一番良く、東高津小学校の場合は多摩川が近いので、そこにいるような生きものがよい。
- ③確かにオタマジャクシは色々な生きものを食べるが、それ以上にカエルになった時のほうが注意が必要である。カエルになると陸、水の中で生活するものがあり、それによってもエサとするものは変わるが、特に注意が必要な種は(水の中でも陸でも)何でも食べてしまうウシガエルである。



児童による司会進行



モニターによる解説



質疑応答



教頭先生によるお話



ビオトープ冊子をもらった後、先生のお話

画像貼付

補足文

画像貼付

補足文

補足文